

161 影かげを潜ひそめる

目立めだっていた物事ものごとが姿すがたを隠かくす。

162 籠かごの鳥とり

身みの自由じゆうが奪うばわれている。

163 風上かざかみにも置おけない

性質せいしつや行動こうどうが卑劣ひれつで仲間なかまとして認めみとられない。

164 笠かさに着きる

自分じぶんや後援者こうえんしやの権力けんりきや地位ちいなど、有利ゆうりな立場たちばを利用りようし威張いばる。自分じぶんの施ほした恩おんを理由りゆうに、勝手かってな行動こうどうをとる。

165 風かぜの便たより

どこからともなく伝つたわってくる噂うわさ。

166 風かぜの吹ふき回まわし

その時々ときどきの一定いっていしない気分きぶんや加減かへん。

167 方かた(片)が付つく

物事ものごとの処し理りが終おわる。決着けつちやくがつく。

168 固唾かたずを吞のむ

事ことの成なり行ゆきを緊張きんちやうしながら見守みまもる。

169 肩かたで息いきをする

肩かたを上下じやうげさせ、苦くるしそうな様子ようすで息いきをする。

170 型かたにはまる

決まりきまりきつた形式けいしきや方法ほうほうで、独創性どくそうせいがない。

171 肩かたの荷にが下おりる

責任せきにんや負担ふたんから解放かいほうされる。

172 片腹かたはら痛いたい

身みの程ほど知らずの相手あいてが、おかしくてたまらない。

173 片棒かたぼうを担かつぐ

仕事しごとや計画けいかくに協力きやうりやくする。多く、悪事あくじについて用もちいられる。

174 肩身かたみが狭せまい

世間せけんに對たいして引ひけ目めを感じかんじ、取はずさしく思おもう。

175 語かたるに落おちる

問とい詰つめても、なかなか言いわないが、意識いしきさせずに話はなさせると、うっかり秘密ひみつを漏もらす。

176 肩かたを怒いからす

肩かたを高く起おこして、相手あいてに威圧いあつ的な態度たいどをとる。

177 肩かたを落おとす

がっかりして気力きりよくを失うしない、肩かたが垂たれ下さがる。

178 方かた(片)を付つける

物事ものごとを終おわりにする。決着けつちやくをつける。

179 肩かたを並ならべる

能力のうりよくや地位ちいなどが同格どうかくで対等たいどうな位置いちにある。

180 肩かたを持もつ

対立たいりつするどちらか一方いっほうの味方みかたをする。ひいきする。